

公開セミナー 後方支援基地と南海トラフ巨大地震 出演者

基調講演



本田 敏秋 氏
遠野市長

神奈川大学法学部卒。1970年岩手県庁入庁。消防防災課長、工業振興課長、企画調整課長、久慈地方振興局長などを経て2002年の旧遠野市長選で初当選。2005年の合併に伴う新市長選に無投票当選。現在通算5期目。東日本大震災では市として官民一体の指揮を執り沿岸被災地の後方支援活動を展開した。2011年に後方支援基地構想が評価され、第6回マニフェスト大賞（ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟など実行委主催）に創設された東日本大震災支援賞を受賞するなど受賞歴多数。2013年には、後方支援拠点施設の検討・整備及び防災意識の高揚、協力体制強化に付与して陸上自衛隊第九師団からの感謝状を贈られた。岩手県遠野市出身。1947年生まれ70歳。

報告・パネリスト



阪本 真由美 氏
兵庫県立大学大学院 准教授

専門は、防災危機管理、リスクコミュニケーション、防災教育。地区防災計画の策定、避難所・避難所外避難者対応など災害に強い地域づくりにも取り組んでいる。京都大学大学院情報学研究所博士後期課程修了。博士（情報学）。国際協力機構（JICA）、人と防災未来センター、名古屋大学減災連携研究センターを経て2017年4月より現職。著書に「わかる！取り組む！災害と防災1 地震」（共著、帝国書院、2017）など。



大西 彰 氏
AMDA職員

2015年、IT関連事業主としての手腕を買われ、AMDAのネットワーク担当として入職。翌2016年1月には南海トラフ災害対応プラットフォーム合同対策本部の本部長に就任。巨大地震発生後、医療チームの派遣先となる徳島や高知県の協定先や自治体、自衛隊との調整に当たるとともに事前交流を推進している。熊本地震や鳥取県中部地震、茨城県北部の地震などでは初期調整や調査活動のために現地入り。岡山県備前市生まれ。50歳。



大塚 愛 氏
岡山県議会議員

2011年の東日本大震災と原発事故により、福島県川内村より岡山市(出身地)に避難。同年5月に原発事故被災者支援団体「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、空き家情報や生活物資の提供、交流会の開催、避難者のための情報冊子発行、岡山市移住相談協議会としての協働、福島県の親子保養の受け入れなどを行う。2015年10月より岡山県議会議員。大工&3児の母



村井 雅清 氏
被災地NGO協働センター 顧問

1950年生。阪神・淡路大震災後、「阪神大震災地元NGO救援連絡会議」の分科会から独立した「阪神・淡路大震災『仮設』支援NGO連絡会」（現：被災地NGO協働センター）の代表となる。2015年4月より顧問として現在に至る。また「CODE 海外災害援助市民センター」事務局長（現・理事）として海外の災害にも取り組む。2011年第21回ロドニー賞受賞。著書多数あり。